

組合員・職員一緒に

“健康で明るいまちづくり”の

きっかけづくり



飲料水ができます▶

3年目研修

職員と組合員が力を合わせて
防災プランを
つくろう！



あじま診療所 河合 晴子

一緒に地域をまわっているときに、あじま診療所建設の話を聞いてやはり組合員さんがつくった診療所であると思い、感謝の気持ちでいっぱいになりました。増資以外で組合員さんと行動することは今までになかったです。診療所への思いなどインタビューできたら面白いと思いました。

災害の設備は、避難場所に集中していることが分かりました。避難場所が近くにない地域の防災が課題です。



名北北支部 西部 恵子

えーこんなことできるの？！って思っていました。実際にやってみて、地域の防災のことがわかってよかったです。近所つきあいしておくことが、災害時にとても役にたつと思います。そのために、これからどうしたらいいのか考えるのが支部の課題です。

組合員・職員と一緒につくるまちづくり。入協して3年目の職員が運営委員会と一緒に防災プラン作りをしました。「えっ！こんなところにトイレがあるの！」「ここから給水するの？」など知らないことばかり。ほかにも建設当時の話も聞き、お互いが元気になる研修でした。

